

『虫歯と肺炎と生活の質』

文／国保多古中央病院 内科 宇都宮隆法

1980年代、私が子どものころは虫歯の児童数がとても多かった記憶があります。近頃は虫歯に対する知識が広まり、今の児童は虫歯の本数がずいぶんと少なくなっているように、片道30分かけて歯科に定期的に通っていた私はうらやましいと思っています。

日本では先史時代からドングリや米などのでんぷん質の食事を多くとっていたため、世界的にも虫歯が多い地域であり、現在でも変わりません。様々な病気を克服して長寿社会となつてから、ますます虫歯は注目される病気となっています。



多古町の高齢者の死亡原因の第一位は肺炎です。肺炎を引き起こす病気として、虫歯や歯周病などがあります。口の中が清潔に保たれなくなると、空気と唾液に混ざって雑菌がのどを通って肺に落ち込み、肺炎を引き起こします。病院内の入院患者さんで、「口腔ケア」として積極的に歯磨きを行うと、肺炎の発症率が減り、疾患による病的な体重の減少も改善します。

また、虫歯の患者さんにはがんが多いことも分かっています。虫歯や歯周病を治さない限り、体内に有害な細菌が際限なく押し寄せ、ため、体の免疫が絶えず戦いを続けているうちに、がん細胞が発生して増えていくのを見逃してしまつてしまいます。虫歯は高齢者だけの問題ではあ

りません。虫歯により子供の学校の成績が下がることもあり、妊婦にも早産などの影響があります。社会人であれば、歯の色や歯並びが外見の第一印象を左右し、就職活動や恋愛、仕事の成績にも影響を及ぼすことがあります。これは会話をするとときに、人によっては相手の目を見るに緊張するため鼻を見る人が多く、その時に口も視界に入るためです。さらに、虫歯と歯周病などで悪化した口臭は離婚の隠れた原因にもなっています。臭いは感情を強く刺激するからです。

定期的な歯石除去で歯周病の発生を防ぐことができるので、歯科検診を6カ月に1度受診することをお勧めします。人体では骨よりも歯のほうがかたく、発掘調査などでも良い標本が得られます。その標本を調べると、石器時代から人類は歯のケアを行っており、そのことからすでに歯と健康への関心が高かったのだろうと推測できます。

【病院便り】
多古中央病院の受付時間は午前11時30分までとなっています。急患に限り時間外も受け付けていますが、設備と人員の関係上、適切な医療機関への紹介をさせていただく場合があります。近隣の医療機関を受診されている方で当院を受診する際にはお薬手帳など、投薬内容が確認できるものを持参してください。



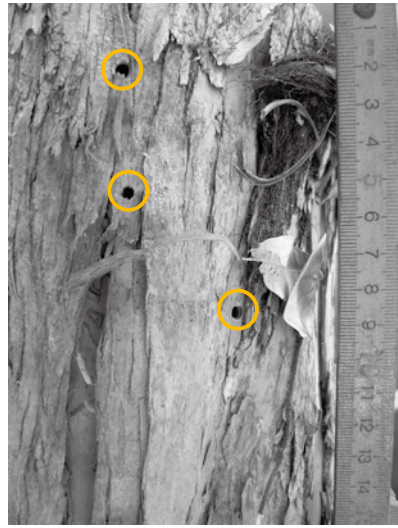
ケブカトラカミキリの成虫

イヌマキの害虫 『ケブカトラカミキリ』にご注意ください！

庭木や生け垣によく使われているイヌマキを食害する『ケブカトラカミキリ』という害虫の発生が町内で初めて確認されました。

この虫はカミキリムシの一種で、成虫の体長は1cm程度です。幼虫が、樹皮の下の水などの通る部分（形成層）を食害します。

被害を受けた樹は一部または全体の葉が黄色くなり、ひどいときは枯れてしまいます。樹皮に直径3～4mmほどの穴（脱出口）を確認できれば、この害虫の被害と断定できます。樹皮をはくと特徴的な食害痕が確認できます。



樹皮の脱出口（丸内）

《対策》

- ①被害を受けた樹の伐採・処分
- ②成虫の駆除
幼虫は樹の中でサナギになって越冬し、4～6月にかけて成虫となり穴（脱出口）を開けて出てきます。その後すぐに産卵するので、4～5月に薬剤を散布する必要があります。

《薬剤》

トレボンMCまたはトレボンEWの2000倍液を散布します。
※農業の登録内容を確認して、使用してください。
詳細は、産業経済課までお問い合わせください。

お問合せ先●産業経済課農業振興係 ☎76-5404

写真提供
千葉県農林総合研究センター

多古台に係る都市計画用途地域の変更案 および地区計画の案の縦覧

多古台の今後の土地利用を促進し、秩序あるまちづくりを実現するための都市計画用途地域の変更および地区計画（案）を作成しましたので、みなさんへの縦覧を行います。なお、案に対して意見のある方は、町長宛に意見書を提出することができます。

- 案の縦覧**
縦覧期間●12月11日（水）～12月25日（水） 午前8時30分～午後5時15分（土・日・祝祭日を除く）
縦覧場所●多古町役場都市計画課
縦覧内容●都市計画用途地域の変更および多古台地区地区計画
- 意見書の提出**
提出形式●都市計画案に対する意見、住所、氏名など必要事項を記載した書面による
提出期限●12月25日（水）まで（郵送の場合は同日消印有効）
提出先●〒289-2292 多古町多古584番地 多古町役場都市計画課

お問合せ先●都市計画課都市計画係 ☎76-5408

俳句

無花果のぷいと膨れるおちよぼ口
普段着で紅だけ差しして後の月
窓秋を呼び戻さんと秋の声
秋来ても着ることのなき背広干す
しあわせを言わぬ幸せ秋の月
老いてなほ歩く幸せ秋深し
気高き花を思いぬ破れ蓮

短歌

坂本竜馬の事跡調べと図書館へ風の中漕ぐ自転車
暑き日のようやく暮れて盛岡に買いし風鈴心地よく鳴る
細き身を幽かにふるわせ野良猫の明日の命の糧にさ迷う
編みかけのレースの如し藪に咲く花鳥瓜夜目にも白く
通り雨過ぎてたちくる森の匂ひわが庭占むる実生の楢よ
丁寧（ていねい）に彼岸だんごを丸めいし亡母のしぐさの思い浮かばる
脊椎の一つがつぶれし吾が画像医師に示されまざまざと見ゆ

- | | |
|-----|-------|
| 水戸 | 鈴木やすし |
| 北中 | 木内慶子 |
| 仲町 | 香取省吾 |
| 高根 | 平山寿男 |
| 喜多 | 瓜生恒子 |
| 飯新 | 前橋節子 |
| 水戸 | 高岡克子 |
| 高野前 | 鈴木沙和子 |
| 大門 | 藤井たか |
| 林 | 高橋宏子 |
| 南玉造 | 秋山裕子 |
| 染井 | 小川美智子 |
| 南玉造 | 秋山絢子 |
| 南玉造 | 越川節子 |

文芸コーナー